

## ●漁況情報

- 三和漁協城ヶ島支所では6月からテングサ漁がはじまっています。6～7月の生産量（乾燥重量）は約2tと前年並みのようです。城ヶ島のテングサは太く、しっかりしており人気がありますが、今年の入札価格は他地区での生産が少ないこともあり、キロ当たり約1,800円と昨年に比べて10%ぐらい高かったようです。しかし、コロナ騒動前の令和元年の2,080円と比べるとまだ価格は十分には戻っていないようです。



天草の天日干し風景

- 8月25日以降秋しらすが獲れ始め、多い日には100kg以上/日の漁があるそうです。「湘南しらす」製品は、あったかご飯にのせるだけでしらす丼を味わえます。各浜の直売所では、通信販売に対応している所も多いのでご利用下さい。湘南しらす情報局 <https://sea.ap.teacup.com/sirasu/>

## ●浜の話題

- 千葉県水産総合研究センターは7月20日に約1.7万尾（全長8～9cm）の種苗に黒または青のタグを付けて種苗放流しております。タグ付きのトラフグを見かけた方は、最寄りの普及員か千葉県水産総合研究センター0470-43-1231までご連絡ください。なお、当県では、栽培推進部が蛍光顕微鏡下で識別可能な耳石ALC標識を施した約12万尾の種苗放流を行っております。

千葉県水産総合研究センター

標識付きトラフグを探しています！

再捕したら  
ご連絡ください

記念品を運送いたします

【トラフグ放流情報】

放流日：2021年7月20日

場所：千葉県いすみ市 塩田川河口

尾数：約17,000尾

放流時の大きさ：全長8～9cm

【ご連絡いただきたい内容】

①再捕した年月日 ②場所 ③方法（漁法）

④全長、体重

⑤標識の色（黒・青）

⑥再捕した方の氏名、連絡先

※可能であれば、

魚体と標識をご提供ください。

【連絡先】

千葉県水産総合研究センター 資源研究室 担当：高山（たかやま）

〒295-0024 千葉県南房総市千倉町平磯2492

TEL:0470-43-1231 FAX:0470-43-1118

- 三和漁協城ヶ島支所は、4月下旬よりアオリイカ資源を増やすため、樫の木の枝を束ねて作った産卵床を沿岸域に設置していましたが、調査によりこれに多くの卵が産み付けられていることを確認しました。今年は8月になっても卵が確認されており、産卵が長く続いているようです。生まれた子が順調に成長し、漁獲に繋がることを期待したいものです。

- 8月12日、水産技術センターは資源管理型栽培漁業推進事業の一環として施設内で生産したカサゴ種苗（全長約8cm）8,172尾を城ヶ島沖に放流しました。今回、生育中の小さい個体は放流しませんが、今後成長を確認しながら放流していくとのこと。種苗放流も4年目となりそろそろ大きく成長したカサゴが獲れることを期待したいものです。



放流したカサゴ種苗



放流光景

- 8月6日、藤沢市漁協はチョウセンハマグリ稚貝分布調査（特別採捕許可）を、鵜沼から辻堂地先までの海浜で実施しました。放流している貝よりも小さなサイズの貝が多く見られたことから、同漁協葉山組合長は「地先の浜でハマグリが産卵し順調に育っていることに安心した」と話していました。



稚貝分布調査の状況



枠取り調査の稚貝

- 8月10、11日、横浜市漁協柴支所及び本牧支所において、水産技術センターで取り組まれた東京湾貧酸素水塊対策研究の成果に関する報告会が開催されました。近年、底魚資源減少の原因の一つとして貧酸素水塊が大きく関係していることが考えられており、参加した漁業者からは熱心な質疑応答がありました。



東京湾貧酸素水塊対策研究の成果説明会の様子（左 柴支所 右 本牧支所）



- 8月23日、三和漁協城ヶ島支所は水産技術センターが生産したサザエ種苗4万個（殻高約20mm）を、港内を除く、島周辺の藻場（水深2~7m）に放流しました。なお、今年はさらに10月頃に追加放流する予定で、サザエの安定的な生産を目指します。



放流光景



放流したサザエ（一部）

- 8月23日、7月中旬から小坪漁協所属座間指導漁業士を始めとした漁業者が養殖に取り組んでいる「海ぶどう」は順調に生育し、当センターの担当研究員によれば1ヶ月で2倍以上のボリュームに育っているそうです。漁業者は8月31日に収穫して、9月3日以降地元量販店に出荷・販売を始め、神奈川新聞やyahooニュース等で新たな取組として紹介されました。

yahoo ニュース「小坪の海ぶどう紹介ページ」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eda862c42fbc58ca495479af6bcd2b9dc98f2e09>



1ヶ月で大きく成長した海ブドウ

地元量販店での販売風景

- 8月24日、大磯二宮漁協、平塚市漁協及び茅ヶ崎市漁協は、（公財）神奈川県栽培漁業協会の支援を受け、全長15cmのカサゴ種苗700~3,000尾を放流しました。大型の種苗のため、翌年には漁獲できると、漁業者は喜んでいました。



放流した大型種苗



カサゴの種苗放流